

古典文学を感じる

古箏の調べとともに 「長恨歌」の世界を楽しむ ～玄宗皇帝と楊貴妃～



古箏 こそう



葫芦絲 ふるす



蓮花鼓
れんかぐ

2025.
11月3日(月・祝) 13:30開演
(開演は開演の30分前)
さいたま文学館1階 文学ホール

1. 「長恨歌」の背景
2. 古箏の響きを楽しむ
3. 古箏の調べとともに
「長恨歌」の朗読



朗読

阿部俐奈(あべ りな)

2001年から朗読を始める。

2012年より現在までNPO日本朗読文化協会・加賀美幸子特別講座に於いて、漢詩から近代詩まで幅広い分野を学んでいる。2014年に加賀美幸子監修のもと、古典研究会を立ち上げ、現在まで主任として、活動。現在、NPO日本朗読文化協会理事。



演奏

愛琴(Aikin)

中国南京出身。音楽家である父の影響を受け5歳からピアノ、二胡、古箏、古琴などを習い始め、1992年来日。神戸大学大学院音楽学修士課程修了。アサヒビール音楽賞や在日留学生音楽コンクール優勝、高円宮ご夫妻の御前演奏、石井好子シャンソンの夕べ、能楽師との共演など幅広く活動している。

入場無料 事前申込制(先着200名)

申込方法: 9月3日(水)から下記の電話および3階の事務所窓口にて受付



さいたま文学館



コバトン&さいたまっち

〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-9 さいたま文学館 TEL048-789-1515

※受付時間 9:00～17:00(月曜日、第4火曜日の休館日を除く)

主催: さいたま文学館 [指定管理者: 株式会社ケイミックスパブリックビジネス]



JR高崎線桶川駅西口より徒歩5分(有料駐車場96台あり)